

§ 2 教育課程

1. 学校の目的

一時滞米者の子女が帰国後の日本の教育環境や社会に順応できるように、日本の教育に準拠した主要教科の授業を日本語で行うことを目的とする。

2. 学校教育目標

『自ら学び、正しく行動する国際性豊かな児童生徒の育成』

～一人一人が輝く子どもの姿を求めて～

【目指す児童生徒】

- (1) 自ら学び、判断して行動する児童生徒
- (2) 失敗をおそれずチャレンジする児童生徒
- (3) 思いやりのある心豊かな児童生徒

【目指す学校】

- (1) 魅力ある学校
- (2) 心温かくやさしい学校
- (3) 創造性に富む活力ある学校

【目指す教師】

- (1) 児童・生徒のよさを引き出せる教師
- (2) 授業の工夫に意欲的に取り組む教師
- (3) お互いに協力し、支え合う教師

3. 具体的な努力事項

- (1) 学習内容の精選を図り、効率のよい指導展開を工夫する。また、研修の機会を確保し、教師個々の力量を高め、より質の高い授業を目指す。
- (2) 読むこと、書くこと、話すことの指導に重点を置き基礎学力の定着を図るとともに、日本語で豊かに自己表現ができることを目指す。
- (3) 児童生徒個々のよさが認められ、それぞれが満足感や成就感を味わうことができる活動の場や発表の場の工夫に努める。
- (4) 学校行事及び、学校生活の中で、日本の学校文化に触れさせるとともに、望ましい基本的学習態度を身につけさせることに努める。
- (5) 学校安全については、常に点検活動を怠らず、児童・生徒の安全確保に努める。
- (6) 学年・学部間はもとより、保護者との連携を図り、児童生徒一人一人の理解に努める。また、教育相談の実施に努める。
- (7) 運営委員会、保護者の会、等との連携を図り組織的機能的な運営に努める。
- (8) 保護者・関係機関に対して情報公開を行い、学校教育を理解してもらうように努める。

4. 学部構成等

(1) 学部編成

幼稚部(年長)・小学低学年部(1～3年)・小学高学年部(4～6年)・中学部(1～3年)・高等部(1～3年)の5学部とする。

(2) 学級編成

児童・生徒の20人程度をもって1学級とする。但し、幼稚部に限り40人(2学級)を超えた場合は、待機とする。(平成25年度の試行として、小学低学年1年で少人数学級を導入する。)

(3) 学 期

4月～6月、8月～12月、1月～3月の3学期制とする。

(4) 修了・卒園・卒業証書

各学年の課程を修了したことを校長が認定した者には、修了証書を交付し進級を許可する。また、幼稚部・小学部・中学部・高等部の課程を修了したことを校長が認めた者には、卒園・卒業証書を交付する。

但し、修了証や卒園・卒業証書は、年度の最終日まで在籍していて、休学中でない者に交付する(最終日までの授業料を納付していること)。

5. 授業日数及び単位時間

(1) 授業日数：40日、学校行事2日(運動会1日、卒園・卒業式1日) 合計42日

(2) 1単位時間：幼稚部、小学部、中学部＝45分 高等部＝60分

6. 指導教科等

幼 稚 部	こ と ば	音楽リズム	絵画制作	計 5時間
小学部1～4年	国 語 3	算 数 2		計 5時間
小学部5～6年	国 語 2	算 数 2	社 会 1	計 5時間
中学部1～3年	国 語 2	数 学 2	社 会 1	計 5時間
高 等 部	国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	数学Ⅰ・Ⅱ上・Ⅱ下 小論文・現代社会		計 5時間

7. 授業時間割

	低学年(幼～小4)	高学年(小5年～中3年)	高 等 部		
職員朝会	8:50～8:55				
朝の会	8:55～9:05				
第1校時	9:05～9:50		第1校時	9:05～10:05	
第2校時	9:55～10:40		第2校時	10:15～11:15	
20分休憩	10:40～11:00		第3校時	11:25～12:25	
第3校時	11:00～11:45				
昼食休憩	11:45～12:15	第4校時	11:55～12:40	昼食休憩	12:25～12:55
第4校時	12:15～13:00	昼食休憩	12:40～13:10	第4校時	12:55～13:55
第5校時	13:10～13:55				
帰りの会	13:55～14:00				
下 校	14:00				